

## 一般質問

## 佐渡市の現状と予測



稲辺茂樹 議員

## 質問

佐渡市の振興策は。

## 市長

行財政の見直しについて、合併5年後の平成20年は463億4700万円の財政規模になると推計している。10年後財政規模については、社会経済情勢や国県の改革等、中期的な将来見通しが明確でないことや、類似団体の財政規模と比較しても、当市のように面積も広く、海岸線も長い特別な地域の例もなく提示は困難である。しかし、財政をめぐる変化に対応し、毎年見直しを行い、中長期財政収支の見通しを明示していかねばならないと考えている。

## 質問

現在の当市の財政は、合併特例法により優遇されているが、本来我々は、その優遇措置期間終了時の財政規模を認識して、行政や社会全体の仕組みを考えていかなければならない。

ばならない。

市長

将来の財政規模は、人口7万人の類似団体で250～300億円の数字が出ている。合併特例債について、十分その点を考慮したい。そして、合併効果を発揮し、施設の統廃合や効率性の高い人事等を行い、行政改革も地道に進める。

質問

市の財政規模縮小の

| 産業分類  | 業種      | 生産高(千円)    | 構成比   |
|-------|---------|------------|-------|
| 第一次産業 | 農業      | 9,219,000  | 3.9%  |
|       | 水産業     | 2,694,000  | 1.1%  |
|       | 林業      | 876,000    | 0.4%  |
| 第二次産業 | 建設業     | 39,946,000 | 16.7% |
|       | 製造業     | 23,729,000 | 9.9%  |
|       | 工業      | 215,000    | 0.1%  |
| 第三次産業 | サービス業   | 50,055,000 | 20.9% |
|       | 政府サービス業 | 45,221,000 | 18.9% |
|       | 不動産業    | 24,887,000 | 10.8% |

平成13年度 市町村経済計算統計データ

おり、今まさに最大の課題は、産業振興ではないか。方法としては、個別的な課題に細かく対応し解決していくことであると考えが。

市長

ひとつひとつ具体的に

にやらなくてはならない。産業の基盤をなす交通問題が重要であり、アクセスの良さやコスト等が課題であると考える。佐渡汽船の運賃の実験的な引き下げを県と協議している。空港についても現在鋭意努力している。同意をいただけたとして開設まで7年間を要するが、その前に各業種等において投資効果が期待できる。

質問

当市の総生産高は、

2474億9000万円であるが、生産高の最も高いものは第3次産業で業種ではサービス業となっているが、その

内の産業連比率が高い観光業の占める割合は。

企画情報課長

詳細については把握していない。

質問

産業振興が急務の課題であるのに、市として経済動向を把握していないのは、問題ではないか。

市長

適切な対応をしたい。

産業施策では、観光業の育成が非常に重要である。新年度から観光資源開発室を設置し、金山の歴史遺産や、相川の宵の舞、能、ドンデン・金北山の縦走トレッキングやトキの施設を中心としたエコツアーの確立等、資源開発をしたい。

子どもたちのための教育とは

質問

文部科学大臣は、日本

の学力低下の結果に基づき、学習指導要領の見直しが必要とし、基本的な方向について結論を出すように求めた。市内の小中学生の学力診断結果と、それに対する教育長の考えは。

教育長

全国標準診断的学

力審査の結果は、国語では小中ともに全国標準を超えているが、数学では中学生が若干

全国標準を下回っている。これについては、診断結果をもとにどこに問題があるのか実態を調べ、解決策を検討し、さらに学力向上を目指していきたい。

質問

学習指導要領の見直しにつ

いては、基礎学力のうえに想像力があり、たくましい子どもたちが育つと信じている。しかし、それだけでは激しい変化の時代には、生きていけない。それを補うために総合学習がスタートしたのであり、今後さらに充実させていきたい。

質問

平成16年度の市内の

ALT英語教育には地域格差が見受けられるが、英語教育の必要性和認識について問う。

教育長

いうまでもなく国

際社会に生きていく、これからの日本人にとって非常に重要であると認識している。一市になったのだから、全島の公平・平等を期していきたい。現在、県2人、佐渡市6人のALTがいるが、地方分権により、県は引き上げられ、佐渡市でALTをすべて賄わなくてはならない方向にある。今後いずれは増やさなくてはならない。

24